



四 気 折 々

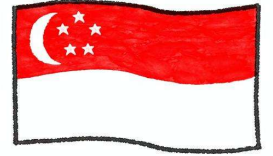
川越町立川越中学校
「学校だより」第35号
令和6年 11月20日(水)
川越高校との連携による交流
事業 スタディツアー報告会!

四気=川越中学校訓 「やる気 ほん気 こん気 げん気」4つの気
学校教育目標 『豊かな心』を土台とした「確かに生きる」力の育成のもと
『関わるこを通して、人権が大切にされる「仲間づくり」』を柱として、一人一人の子どもたちを大切に取組みを進めます。

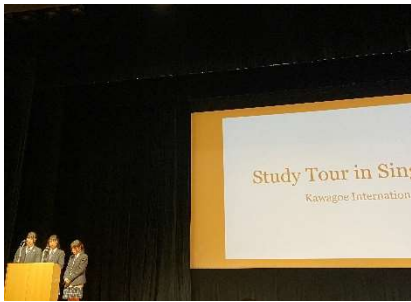
川越高校との連携による交流事業。川越中学校と川越町は『包括連携協定を締結』する中で、様々な交流事業を進めています。川越町唯一の高等学校として、川越高校そして川越高校の高校生の皆さんはいつでも川越中学校の子どもたちの憧れです。そんな憧れの先輩たちの姿を直接見て・聴いて・学ぶことができるチャンス今年度はいっぱいつくっていただきました！心から感謝いたします。ありがとうございました。

川越高校国際文理科「海外スタディツアー報告会」に参加させていただきました！夏休みの「学年ごとの勉強会」に教育ボランティアとしても参加をしてくれました！このような貴重な経験を活かして『自分を鍛えよう！』そして『自分を創ろう！』これも大切なキャリア教育だと思います。

川越中学校2年生で取り組む、キャリア教育は続いています！
このような貴重な経験を活かし、今よりもっと確かな自分を創っていこう！自分を創るのは、やっぱり自分です。



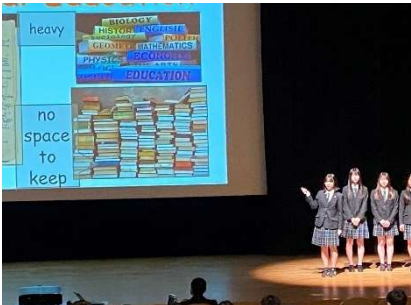
11/13 (水) 川越高校国際文理科「海外スタディツアー報告会」へ川越中2年生が参加させていただきました！



川越中学校2年生は、先週11月13日(水) 14時15分から「あいあいホール」にて川越高校国際文理科の「海外スタディツアー報告会」に参加をさせていただきました。昨年度に続き2年連続での参加となります。コロナ禍前は、現在大学1年生の年代(5年前)まで3年連続で参加させていただきました。過去には、中学校2年生でのスタディツアー報告会に参加して、国際文理科の先輩たちのプレゼンテーションに感動をし『絶対に川越高校国際文理科に進学したい!』、『私も川越高校に進学してスタディツアー報告会でプレゼンをしてみたい!』という夢を持って川越高校国際文理科に進学した卒業生もいました。その卒業生が2年後に、優しく丁寧でわかりやすい英語力を活かしてシンガポールスタディツアー報告会において、ステージ上で優しい笑顔でプレゼン発表をしていたことが今でも記憶として残っています。



川越高校国際文理科では、実践的な英語活用能力の向上とグローバル社会で活躍する生徒を育成する教育活動の一環として、2年生でシンガポールにおける海外スタディツアーを実施されています。昨年から4年ぶりに開催された報告会には、コロナ禍前と同様に川越中学校2年生生徒をご招待いただき



ました。高校生のみなさんの日々の授業や体験で着実に培ってきた圧倒的な英語力を活かしたコミュニケーション力、表現力、プレゼン力などがいかに発揮され、聴き手を引き付ける「伝える力」が、視覚にそして中学生の心に一生懸命にプレゼンをしていただく高校生の姿としてしっかりと響きました!
オール English での報告でも、ジェスチャー



で、映像や写真、イラストをしっかりと活用して視覚的にわかりやすく、聴き取りやすくわかりやすい丁寧な英語でのプレゼンをしてくださいました。あたたかく、優しい表情ひとつにも表現方法として考えてくださっているのがとってもよくわかります。プレゼンも高校生だけ、司会進行のナビゲーターも高校生。高校生の英語力だけではなく、表現力・行動力、そして、探求力…いっぱい素敵な姿を見せていただきました。

3つの素敵なグループプレゼンが終了した後は、写真のように中学生に「クイズでの振り返り」をしていただきました。質問もすべてがオールEnglishです。質問に対して中学生の子どもたちの手をあげる人数も少しずつ増えて、オールEnglishの質問にも答えようとチャレンジをしてくださいました。なんと、質問に対して答えた子どもたち全員が大正解！素敵なお土産までいただきました。その空間は、はじめてかかわる高校生の先輩たちの中にも、中学生一人一人が積極的に関わろうとしていたことがすごく嬉しいことでした。何より中学生の子どもたち全員が、川越高校国際文理科のみなさんの学習の成果を目の前で見させていただいたこと、全力でプレゼンに取り組む姿やあたたかい雰囲気を創っていただいた行動力と企画力に強く心を動かされたと思います。そして優しく心に響くプレゼンが、今まで以上に英語に興味を持つきっかけを作っていただきました。本当に

ありがとうございました。感動をしました！最後になりますが、このような貴重な体験と経験を積ませていただきました、川越高校の校長先生、教頭先生はじめ、国際文理科の先生方に心から感謝し、お礼をさせていただきます。本当にありがとうございました！

— To make good presentations — We have to practice a lot and memorize. Then we can use gesture and make eye contact.

【 報告会に参加した川越中学校2年生みなさんの感想から（一部抜粋） 】

- 高校生の英語力がすごくてビックリした。自分が知らない英語の表現の使い方や単語がたくさんあり勉強になったし、まだまだ自分は勉強が足りないなと思った。高校生の人たちも外国へ行って、いざ英語を話そうとすると、難しい単語や表現方法を知っていても、すぐに言葉にすることができないと言っていて、やっぱり英語で会話することは難しいことだと思った。
- スタディツアー報告会に参加する前は、英語が全く聞き取れなかったらどうしようと不安に思いましたが、実際に参加してみると、パワーポイントの資料やジェスチャーなどが合わさることで理解できる場面が多くありました。内容がすべて分かった訳ではないけれど、何となくでも一部の内容がわかったときは嬉しくて、最初から最後まで楽しませていただきました。私が特に印象に残ったことは、司会の方が最後におっしゃった『単語・文法を日頃から身につけておくことが大切』という言葉です。いざ英語で会話したり、テストを解いたりするには、やっぱり基礎が大切なんだと改めて聞いて、普段から英語の勉強を頑張ろうと思いました。今回は貴重な経験をさせていただきありがとうございました。
- 初めてこのような報告会に参加して、川越高校ではどんなことを取り組んでいるのかが少し分かりました。プレゼンテーションを英語ですするというのは自分にとってすごく未知の世界でしたが、その難しさをやってのける高校生の方たちはすごいなと思いました。自分も英語が好きなので、聞いていて分からない所もあったけど、すごい！おもしろい！かっこいい！という気持ちになりました。この機会があったおかげで川越高校にさらに興味を持つことができました。
- 意外と知っている単語や文法が使われていることが多くて、思っていたよりも文がよく理解できました。スピーチをしていたすべての人が、堂々とジェスチャーもして、はっきりとした話し方ですごく聞きとりやすかったです。私たちが楽しめるように、理解しやすいように日本語での説明を多くはさんでくれて、楽しいんでほしいという思いが伝わり嬉しかったです。
- たくさん勉強して、調べて、海外に行ってプレゼンテーションをするのがすごくかっこよかった。海外に自分も行ってなったら、たくさん言語の勉強をしなきゃ高校生のみなさんのように話せないと思ったし、すごいと思った。英語で会話を楽しんだと高校生のみなさんは言っていたけど、めちゃくちゃ楽しかったんだらうなと思った。とってもいい経験となりました。



【 7/28 川越高校の15人が教育ボランティアとして川中の夏休み学習会に参加してくれました！】
高校生の皆さん来年の夏休みもお願い！